

CYEST

報道関係様各位 PRESS RELEASE

サイエスト株式会社

2016 年 9 月吉日

異業種連携の事業コンソーシアム「Incubation & Innovation Initiative」 (三井住友銀行、日本総合研究所 主催) に参画

サイエスト株式会社（東京都港区、代表取締役社長 塚崎 義直、以下「当社」）は、三井住友銀行とグループの日本総合研究所が主体となり組成した、異業種連携の事業コンソーシアム「Incubation & Innovation Initiative」（以下 III コンソーシアム）に協賛メンバーとして参画します。III コンソーシアムは、多様な専門性を持つコンソーシアムメンバーによる、新たな技術やビジネスアイデアの価値創出支援の実施に加え、イノベーションによる産業創造・社会変革の実態に即した法制度設計や規制改革等の政策提言への対応まで踏み込むことで、日本経済の活性化に貢献してまいります。

また III コンソーシアムでは、産官学から創発される新たな技術シーズ・事業アイデアの事業化を支援し、投資家や事業会社とマッチングを行うピッチコンテスト「未来」を開催しており、今年度は 2 回目となる「未来 2017」を開催いたします。

当社はピッチコンテスト「未来 2017」に出場するベンチャー企業に対して、グローバル人材の紹介を通じて、事業化支援のサポートを行ってまいります。

■III コンソーシアムの特徴

- ・スタートアップ企業や大企業のカーブアウト等の経営者、あるいはそれらをこれから起業する人材をトレーニングし、あらゆる企業・投資家等をつなぎあわせ、イノベーションをサポートすることを目的としています。
- ・主催するピッチコンテスト「未来」には当社を初めとした様々な分野の民間企業がアドバイザーとして参画し、参加チームのビジネスプラン作成支援や、メンタリングをサポートします。
- ・海外進出の支援を行います。
- ・新規企業の成長を阻んでいる法制度の見直しや改革を官庁に提案をします。

■当社が III コンソーシアムに協賛メンバーとして参画した背景

・当社は 2400 名の国内・海外での事業経験豊富なシニア人材の経験とネットワークを活用したスタートアップやベンチャー企業のインキュベーション事業サポートをミッションに事業を展開しております。

- ・「未来 2017」に登壇されるスタートアップ企業向けに以下のような支援を想定しております
 - ① 登壇企業様への事業戦略立案及び実行支援（経営人材・顧問派遣）
 - ② ベンチャーファイナンス専門家の紹介（財務顧問・CFO 派遣）
 - ③ 国内・海外販路開拓支援（営業顧問派遣）
 - ④ 技術スペシャリストの派遣（技術者派遣）

CYEST

■「未来 2017」詳細について

ビジネスプラン募集開始 2016年7月1日(金)～2016年9月14日(水)17:00

書類審査結果通知 2016年9月21日 日 目 途

二次審査/ピッチコンテスト 2016年12月20日(火)

最終審査/ピッチコンテスト 2017年2月13日(月)

海外派遣プログラム 2017年3月中旬

URL: <http://mirai.ventures/>

【サイエスト株式会社 会社概要】

「全ての企業と個人にグローバルビジネスの機会を創出する」の理念のもと2013年に設立しました。海外ビジネス経験が長い定年後のシニア層を『グローバル顧問』として企業に紹介しています。2016年6月現在の登録者数は2,400名を超え、豊富な海外事業ノウハウとグローバルネットワークを活かして、企業の海外事業における包括的な支援を行っております。

会社名 : サイエスト株式会社

所在地 : 〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目17-69 赤坂フェニックスビル3F

創業 : 2013年5月

代表 : 代表取締役社長 塚崎 義直

資本金 : 1,000万円

事業内容 : グローバルビジネスの総合コンサルティングサービス、
グローバル人材紹介事業

URL : <http://cyestc.com/>

<本件に関するお問い合わせ先>
サイエスト株式会社 広報担当 本谷亜紀 (ほんやあき)
メール: pr@cyestc.com
TEL : 03-5797-7650

CYEST

【参考】

スタートアップ企業、ベンチャー企業の課題

経済産業庁の調査によると、倒産の大きな失敗として「経営管理能力の欠如」「商品・マーケティング戦略ミス」と回答している企業が多いことが分かります。

原因	萌芽期	成長初期	成長・拡大期	上場又は M&A前後	総計
研究開発・技術開発の遅れ	3	2	1	0	6
コスト意識の低さ 高コスト体質	1	2	0	0	3
営業力の弱さ	3	5	2	0	10
市場環境の悪化	0	5	11	1	17
経営管理能力の欠如	4	12	19	0	35
組織の機能不全	0	5	2	1	8
商品・マーケティング戦略ミス	3	10	15	0	28
社長の人的問題	0	2	5	0	7
資金繰りの悪化	2	3	4	1	10
設備投資の負担	0	0	11	0	11
その他	5	5	3	0	13
総計	21	51	79	3	154

(引用元 経済産業省 ベンチャー企業の経営危機データベース～83 社に学ぶつまずきの教訓～)

<http://www.meti.go.jp/policy/newbusiness/kikidatabase/index2.html>